

村上處直先生を 偲ぶ会

日時：2025年6月7日（土）14:30 - 19:00（受付14:00-）
会場：建築会館ホール（東京都港区芝5丁目26-20）

第一部 14:30-（無料）

シンポジウム「防災都市計画の創成と潮流」

総合司会：吉田 聡（横浜国立大学 教授）

- ・ 開会挨拶：村上 美奈子（建築家・計画工房）
- ・ 趣旨解説「村上處直先生の軌跡と功績」：
村尾 修（東北大学 教授）
- ・ パネルディスカッション：
尾島 俊雄（早稲田大学 名誉教授）
平井 邦彦（長岡造形大学 名誉教授）
佐土原 聡（横浜国立大学 名誉教授）
加藤 孝明（東京大学 教授）
- ・ 閉会挨拶：吉川 忠寛（防災都市計画研究所 所長）
- ・ 記念写真撮影

第二部 17:00-19:00（会費：7,000円）

懇親会「村上處直先生を偲ぶ」

申込：以下のURLまたはQRコードよりお申し込みください

<https://forms.gle/KqL1XU7iDCXTqQ5E7>

主催：「村上處直先生を偲ぶ会」実行委員会

村上美奈子、佐土原聡、吉川忠寛、村尾修、吉田聡、
石原寛之、稲垣景子、古屋貴司、村上宙敬



お問い合わせ：防災都市計画研究所
shinobu@lusp.co.jp / 03-3262-6376

村上處直先生略歴

西暦	略歴	主なできごと（社会／プライベート／功績）
1935	1 月 24 日愛知県名古屋市にて出生	
1941	名古屋市立汐路小学校入学 広島高等師範附属小学校に転校	
1945		広島に原爆投下 枕崎台風が中国地方を直撃
1947	広島大学教育学部附属中学校入学	サッカー部に入部
1950	広島大学教育学部附属高等学校卒業	
1959		伊勢湾台風
1960	横浜国立大学工学部建築学科卒業	学部中はグリークラブ所属
1962	東京大学大学院数物系研究科修士課程修了（建築音響工学を専攻） 東京大学工学部都市工学科発足し、高山英華研究室に移籍（都市防災を専攻）	太田博太郎研究室の建物調査に参加 羽田空港騒音対策レポートを作成 研究テーマ「物理学的防災都市計画」
1964		新潟地震 白鬚東再開発の検討開始
1965	博士課程単位取得後退学 高山研究室特別研究員 結婚	四日市市臨海防災計画 江東防災再開発計画づくりに参画
1968		十勝沖地震 対震自動消火型石油ストーブの提言
1970	(株)防災都市計画研究所設立 所長就任	大阪 天六ガス爆発
1971		「東京江東地区の防災事業に関する基本方針」答申 サンフェルナンド地震調査団として参加
1972		大阪 千日デパートビル火災研究調査 マナグア地震現地調査 横浜市「危険エネルギー」報告書公表
1974	「防災拠点等の防災都市建設に関する一連の計画」にて日本都市計画学会設計奨励賞受賞	白鬚東堤通り地区の都市計画変更および同地区第 1 期工事実施計画 建設省「大都市震災対策に関する調査」
1976		東京都「地震危険度調査」作業企画 中国唐山地震調査
1977	酒田市大火復興事業推進委員	大蔵省「筑波移転跡地利用計画」に関する調査
1978	カリフォルニア州地震対策アドバイザー	火災建物の外周環境におよぼす影響の観測 東海地域震災対策調査
1979	一般財団法人都市防災研究所創設	
1980		杉並区蚕糸跡地周辺まちづくりと学校防災公園整備案作成
1982	早稲田大学に災害情報センター設立	国分寺市防災まちづくり推進地区事業促進コンサルティング
1985	工学博士取得	
1987		イギリス地下鉄火災現地調査
1988	横浜国立大学工学部教授	災害情報センターに「災害情報データベース」構築
1992		雲仙火山砂防計画
1995	阪神・淡路復興委員会委員	兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）現地調査
2000	横浜国立大学退職 (株)防災都市計画研究所代表	
2001	早稲田大学理工学総合研究センター教授	
2004	日本大学生産工学部非常勤講師 早稲田大学客員教授	新潟県中越地震現地調査
2005	危機管理システム研究学会会長	
2006		Journal of Disaster Research を発刊
2008	(株)防災都市計画研究所会長	四川地震現地調査
2011		東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）現地調査
2014		長野県北部地震現地調査
2016		熊本地震現地調査
2024	10 月 20 日永（享年 89 歳）	